第31回JKJO全日本空手審判機構
中部地区審判講習会交流組手試合のお知らせ

第31回中部地区審判講習会交流組手試合を下記の日程にて開催いたします。
フルコンタクト空手のジュニア大会全盛の今日、ルールの統一、審判技術の向上を計り、どの大会に出場してもクリーンで公平・厳格なる大会となるためにも、各団体の皆様のご理解と、ご協力を頂けますよう、宜しくお願い申し上げます。
また、審判員の参加人数に対して、選手の参加が極めて少ない為、進行が難しい状況にあります。
それに伴い、今回はトーナメント参加以外に 参加料500円で2時間の組手練習会を企画致しました。
組手練習会へのご参加も重ねてお願い申し上げます。 押忍

【 日　　時 】　平成29年4月9(日)
9:30 開場・受付　10;00開会式 (受付、開会式は2階柔道場)
10:30～12:30　組手練習会(1階剣道場 参加料500円)
10:30～12:30　初心者講習会、練習試合(2階柔道場) 筆記試験(3階さくら たちばなの間)
初心者講習会 練習試合の際、保護者の皆様は柔道場への立入は禁止です。
13:30～　実技、交流試合(2階柔道場)

【 会　　場 】　津島市錬成館
〒496-0025津島市中一色町中山26　TEL 0567-24-8001

【 主　　催 】　JKJO中部地区事務局

【 参 加 費 】　審判:600円(オスカラテ代金)
交流試合選手:2, 600円((組手練習会参加費とオスカラテ代金込))
※但し、交流試合へ選手出場がない場合、1団体2, 000円
組手練習会のみの参加費　1人500円

【ライセンス登録料】　1, 000円　※ライセンス受験者、更新者のみ

【 持 ち 物 】　笛、リストバンド(主審)、ライセンス証(ライセンス取得者)、筆記用具(筆記試験を受ける方)

【 昼　　食 】　代表者・A・B級のライセンス取得者、今回A・B級受験の審判員のみ弁当付 (3階第1・2修養場)

【 服　　装 】　男性:白または紺(指定)のYシャツ、紺または黒のスラックス、JKJOネクタイ
女性:白のブラウスまたは紺(指定)のYシャツ、紺または黒のスラックス、JKJOネクタイ
※過度な化粧・頭髪の色、装飾品は禁止

【ライセンス取得条件】高校生以上で空手修行4級以上の者。
C級以上の受験者は原則空手修行5年以上かつ黒帯以上。
(所属道場責任者推薦のある場合2級以上の者も受験可能)
C級以上の受験者は救急救命セミナー講習経験が必要です。
(所属道場等で救命講習を行った場合、修了書のコピーを提出してください)

E級	講習会参加3回目で取得(実技試験)
D級	E級取得後、講習会参加2回目で受験(実技試験)
C級	D級取得後、講習会参加2回目で受験(実技・筆記)
B級	C級取得後、講習会参加2回目で受験(実技・筆記)
A級	B級取得後、講習会参加2回目で受験(実技・筆記)
S級	S級検定試験(年2回開催)でのみ受験可能

※前回受験で不合格となった方は、4ヶ月期間を置いて再受験してください。
※初参加団体は、事前にJKJO参加申請書を提出してください。
個人初参加の方も、同様に個人登録JKJO参加申請書を提出してください。

【 注意事項 】　※受験申込書について
ライセンス受験及び更新の方は、申込時に受験申込書を提出してください。
ライセンス証発行の際に使用しますので、必ず写真を添付してください。
未提出の場合は当日参加しても講習者扱いになりますのでご注意ください。
※ライセンス有効期限について
ライセンス有効期限は2年間です。失効する前に必ず更新受験を行ってください。

【 そ の 他 】　ご自分が現在何級なのか、今回受験可能か等不明な方は、事前に事務局へ問い合わせ願います
錬成館は館内、敷地内全てにおいて禁煙。飲食は必ず3階の第1・2修養場にてお願い致します。

【 締　　切 】　平成29年3月9日(木)必着　※各道場でまとめて現金書留にて送付してください。
①審判講習会参加申込書 ②公認審判員受験申込書 ③審判員受験更新料(1名につき1,000円
④オスカラテ代 ⑤交流試合申込書・参加費 組手練習会のみの参加費(1名につき500円)

【 申 込 先 】　〒511－0065 三重県桑名市大央町47－1　JKJO三重 先田哲生(真誠塾)

TEL 080－1619－9708　FAX 0594－41－2898 (先田哲生)

JKJO全日本空手審判機構 試合規約

2017

	試合時間			組手			サポーター					
	本戦	延長 ※マスト	再延長 ※マスト	上段ヒザ	一本（自滅も同様）	技有り（自滅も同様）	ヘッドガード JKJO指定品 各自用意	拳 JKJO指定品 各自用意	スネ 脛 JKJO指定品 各自用意	ヒザ 膝 JKJO指定品 各自用意	ファールカップ JKJO推奨品 各自用意	女性用チェストガード JKJO推奨品 各自用意
幼児 小学生	1分30秒	1分	1分 決勝のみ	無	打撃により一瞬でもダウン 3秒以上の戦意喪失	①宙に浮かせ転倒させる ②上段にクリーンヒット ③一時的に動きが止まる ④一時的に戦意喪失 ⑤下段蹴りで足を引きずる ⑥腹部のダメージで体がくの字になる ⑦防戦一方になり反撃しない状態が続く	○	○	○	○ 3年以上義務	○	3年生以上女子 ○ 2年生以下女子 × 男子 ×
中学生	1分30秒	1分	1分 決勝のみ	有			○	○	○	○	○	女子 ○ 男子 ×
高校生	2分	2分	2分 決勝のみ	有			○	○ グローブ	○	○	○	女子 ○ 男子 ×
一般 女子	2分	2分	2分 決勝のみ	有	打撃で3秒以上のダウン 3秒以上の戦意喪失	①完全に宙に浮かせ転倒させタイミング良く下突きを合わせれば技有り ②上段にクリーンヒットしダメージがあれば技有り ③～⑥ジュニアと共通	×	×	○	任意	○	○ 硬質可
一般 男子	2分 準決勝から3分	2分	2分 準決勝から	有			×	×	×	×	○	×

※JKJO 指定品と同タイプで、新極真のロゴマークが入っているサポーター、ヘッドガード（金網面）は使用可。

反則

a. 掴み、掴んでからの攻撃、掛け、抱え込み
b. 掌底押し、正拳押し、相手の身体に手・胸を付けての攻撃
c. 頭突き、頭をつけての攻撃、背後からの攻撃
d. 手技による顔面・首への攻撃、膝への関節蹴り
e. 下腹部（帯より下、股関節より上）への攻撃（一般は金的）
f. 故意に場外へ出る事、審判が判断した技のかけ逃げ
g. 上段膝蹴り（小学生以下は反則、中学生以上は有効）
h. 主審の「やめ」の合図の後に意図的に攻撃をした場合
i. その他審判が反則とみなした場合

失格

a. 注意４となった場合
b. 一度の反則でも相手がドクターストップになった場合
c. 試合時間に遅れた時
d. 審判員の指示に従わない時
e. 試合開始から判定が下されるまでの嘔吐はダメージとみなされ失格とする
f. 規定体重を超えていた場合

判定優先順位

一本（失格） ＞ 技有り ＞ ダメージ ＞ 有効打 ＞ 攻撃数 ＞ 積極性

判定基準図解

技有り１　技有り２（一本）

注意１　注意２　注意３　注意４（失格）

注意差の関係

0 ≦ 注意1 ≦ 注意2 ≦ 注意3 ＞ 注意4	注意差1の時は最終延長以外判定に影響しない。注意4になった時点で失格
0 ≧ 注意2	注意差2の時は基本的に負けだが、8:2 以上の試合内容で引き分けもある
0 ＞ 注意3	注意差３の時はどんなに試合内容でリードしていても技有りを取らない限り負けである
0 ＞ 注意4	注意４になった時点で失格
注意1 ≧ 注意3	注意差が２なので基本的に負けだが、8:2以上の試合内容で引き分けもある
注意1 ＞ 注意4	注意４になった時点で失格なので相殺されない
注意2 ＞ 注意4	注意４になった時点で失格

注意差と技有りの関係

0 ＜ 技有+注意1 ≦ 技有+注意2 ≦ 技有+注意3 ＞ 技有+注意4	注意差1の時は最終延長以外判定に影響しない。注意4になった時点で失格
0 ＜ 技有+注意2	注意差2でも技有りがあるので勝ちである
0 ≦ 技有+注意3	技有りがあるので勝ちだが、8:2 以上の試合内容で引き分けもある
0 ＞ 技有+注意4	技有りがあっても注意４になった時点で失格
技有+注意1 ≧ 技有+注意3	注意差が２なので基本的に負けだが、8:2以上の試合内容で引き分けもある
技有+注意1 ＞ 技有+注意4	注意４になった時点で失格
技有+注意2 ＞ 技有+注意4	注意４になった時点で失格

着衣

- 帯留め着用必須（帯が解けないように帯留め又はテープで固定）
- ファールカップはズボンの内側にすること。
- 男子のインナーＴシャツは禁止、女子は白のみとする。
- 女子のチェストガードはＴシャツの下に着用すること。

禁止事項

- 判定後の「雄叫び」「ガッツポーズ」は厳禁とする。（注意・失格となる場合がある）
- 判定に対しての抗議は一切受け付けない。
- 怪我によりテーピングを施す必要がある場合は救護係りの指示に従い検印を受ける。
- テーピングは各自持参すること。

注意事項

- セコンドコーチは付けない事とする。応援は禁止とする。
- 派手な髪型（金髪など過度の染髪、デザインした刺り込みを入れる等）での出場は禁止とする。
- 大会参加前には必ず各自スポーツ保険に加入すること。・大会主催者は、大会当日の事故・怪我・盗難についての一切の責任を負わないこととする。

第31回JKJO中部地区審判講習会交流組手試合のお知らせ

JKJO中部地区審判講習会交流組手試合を下記日程にて開催いたします。
審判講習会にご協力・ご賛同いただける選手の出場者を募集いたします。

【 日 時 】 平成29年4月9日(日)選手受付9:30 開会式10:00(受付・開会式は2階柔道場)
組手練習会・練習試合10:30 交流試合13:30 (開会式終了後、全選手は1階剣道場に集合)

【 会 場 】 津島市錬成館 2F柔道場(初心者講習会・練習試合会場) 1F剣道場(組手練習会場)
〒496-0025津島市中一色町中山26 TEL 0567-24-8001

【 参加費 】 交流試合参加費2,600円(組手練習会参加費とオスカラテ代金込)
組手練習会のみの参加費500円 (選手は昼食を各自持参。飲食は必ず3階第1・2修養場で)

【 その他 】 ＊学年別・男女別トーナメント制 ＊JKJOルール(別紙参照)
＊人数が少ない場合統合有 ＊全クラス上段膝蹴り禁止

【 持ち物 】 ＊拳サポーター ・ スネサポーター(JKJO指定品) ＊ヒザサポーター(JKJO指定品)
＊ヘッドガードは主催者が用意します ＊ヒザサポーターは3年生以上義務
＊胸サポーターは3年生以上女子義務
＊女子の道衣の下に着用するTシャツは白色。男子は何も着ない事とする。

【 注意事項 】 ＊参加選手はスポーツ保険に加入しておく事。
＊選手は勿論、付添いの方々も相手選手や審判員に対する礼節・マナーを充分に配慮願います。
＊審判講習が目的となりますので、試合中に審判員・選手への注意や指導が行われる場合があります。
＊保護者・先生による応援はできません。ご理解ご協力お願いいたします。
＊初心者講習会 練習試合の際、保護者の皆様は柔道場への立入は禁止です。
＊錬成館は館内、敷地内全てにおいて禁煙。飲食は必ず3階の第1・2修養場にてお願いします。

【 締 切 】 平成29年3月9日(木) 各団体ごとに現金書留にて下記の住所まで郵送してください

【 申込先 】 〒511－0065 三重県桑名市大央町47－1 JKJO三重 先田哲生(真誠塾)
TEL 080－1619－9708 FAX 0594－41－2898

【 参加資格 】 初心の部 : 2年生までは入門1年以内、4年生までは入門2年以内、6年生までは入門3年以内で大会出場5回まで、入賞経験のない者に限ります。

---------- キリトリ ----------

第31回JKJO中部地区審判講習会交流組手試合出場申込書

大会実行委員長 殿　　平成　年　月　日

私儀、下記の通り相違なく、本大会のルールに従い正々堂々と競い合うことをここに誓います。
また、本大会中における負傷・事故につきましては、主催者側にその責任の一切を問いません。

極真会館 浜井派　　選手保護者氏名　　印

団体名	愛知 石川道場	代表者名	石川 昭
フリガナ		生年月日	
選手氏名		TEL	
現住所	(〒　－　)		
性別		帯色		級・段位	級・段
身長		体重		修行歴	年　ヶ月

参加部門に○をつけてください

初心	男子	女子	入賞経験なし	男子	女子	入賞経験あり	男子	女子
幼年			幼年			幼年		
小学1年			小学1年			小学1年		
小学2年			小学2年			小学2年		
小学3年			小学3年			小学3年		
小学4年			小学4年			小学4年		
小学5年			小学5年			小学5年		
小学6年			小学6年			小学6年		

組手練習会のみに参加する方だけ→に○をつけてください (交流試合参加者は○をつけないでください)	

JKJO公認審判員規程別1
受験者→講習会開催者→JKJO本部

JKJO全日本空手審判機構　公認審判員受験申込書

全日本空手審判機構公認審判員規程に則り、下記の通りライセンス受験を申し込みます。

登録料　1,000円

受験日	西暦　　年　　月　　日（　）	会場名	
開催地区	北海道・東北・甲信越・北陸・関東・中部・関西・中国・四国・九州		

カラー写真1枚
3×4cm・上半身
正装・脱帽
裏面に名前

＊S級（準S級）受験の方はS級専用申込書にてお申込みください。　＊前回受験で不合格となった方は4か月期間を置いてから再受験してください

受験級	A　B　C　D　E　級（○を付す）	受験区分	新規・再受験・更新（○を付す）		
登録No	―　審判認定証参照 初受験の場合未記入	所属道場			
ふりがな		生年月日	西暦　　年　　月　　日		
氏名		性別	男・女	年齢	歳
住所	（〒　　―　　）　都道府県				
電話番号	―　　―	メール			
職業		空手段位	級・段	空手修行歴	年　　ヶ月
現ライセンス	A　B　C　D　E　級（○を付す）	現ライセンス取得年月日	今回受験日が現級取得日から4か月以上経過していること　西暦　　年　　月　　日		
現ライセンス認定検定員名	（審判認定証参照）				

現ライセンス取得後の講習会参加日　＊E級受験の場合は、1回目と2回目の講習日を記入

西暦　　年　　月　　日　西暦　　年　　月　　日　西暦　　年　　月　　日

指定大会・公認大会審判経験

西暦　　年　　月　　日　大会名　　主審・副審
西暦　　年　　月　　日　大会名　　主審・副審
西暦　　年　　月　　日　大会名　　主審・副審

B級以上受験者：救急セミナー参加経験　※B級以上は2年に一度受講義務になります。未受講の方は受験・更新できません。

西暦　　年　　月　　日　場所

S級受験者：検定員補助経験

西暦　　年　　月　　日　場所
西暦　　年　　月　　日　場所

備考　＊道場の移籍、改名、住所変更等が生じた場合、記入してください　＊S級検定の場合、所属地区推薦者名（検定員）をここに記入

（以下、検定員記入欄）

JKJO全日本空手審判機構　公認審判員試験　合否判定

※実技試験検定員が3名以上いる場合、初めの2名のお名前がライセンス証に印字されます。

実技試験	検定員名	1		2		補助検定員名（A級）

※減点方式のため、問題が無ければ「5」に○を付けてください（例：ライセンス不携帯の場合減点1で「4」に○）

服装（審判認定証の携行・ネクタイ・シャツ・ズボン・頭髪の色・過度な化粧・装飾品）	5　4　3　2　1
入退場時の動作	5　4　3　2　1
反則、有効技に対する反応（アクシデントに対する対応も含む）	5　4　3　2　1
判定時の動作（笛・旗）・姿勢（副審席・主審の場合立ち位置）	5　4　3　2　1
主審・副審間の連携（試合中反則選手への警告等）	5　4　3　2　1
判定の正確性	5　4　3　2　1

※筆記試験/90点以上合格　※実技試験/A級27点以上・B級26点以上・C級25点以上合格

筆記試験	立会検定員名		点数	点	実技試験	点	総合評価　合格・不合格

特記事項	

公認審判員受験者は右の規定を読むこと

公認審判員規程の要約

- ライセンス受験する場合、この受験申込書とライセンス登録料を締切日までに講習会開催者に提出しないと受験できない。
- 講習会当日、公認審判認定証を携行しないと、不合格となる。審判員は、大会、講習会で常に「公認審判認定証」を携行すること。
- ライセンスの有効期限は**2年間**です。失効する前に必ず更新受験を行うこと。
- 各ライセンス受験資格と試験内容
  - S級：A級取得後、公認大会審判経験2回以上、講習会において検定員の補助業務経験2回以上、所属地区の検定員の推薦を受けたものが受験できる。筆記試験と実技試験。
  - A級・B級：筆記試験と実技試験
  - C級：空手修行**黒帯以上**。但し、所属道場責任者の推薦がある場合空手修行5年以上か2級以上の者も受験可。筆記試験と実技試験。
  - D級・E級：**高校生以上かつ4級以上のもの**が受験資格を有するが、所属道場責任者の推薦がある場合その限りでない。無試験。
- ライセンス取得後、次級受験には、1回の講習会受講が必要。但し、E級受験は講習会を2回受講すること。
- ライセンス受験で不合格となった場合、再受験は前回受験から4か月期間を置くこと。
- D級以上の審判員は年に2回以上、公認大会で審判経験を積むこと。
- B級以上の審判員は救急士による**救急救命セミナーを2年に1度受講**すること。